

新生児グループ

所属メンバー

- ・長 和俊 (准教授・診療教授、昭和 60 年卒)
- ・水島 正人 (助教、平成 4 年卒)
- ・小西 祥平 (大学院 4 年、平成 11 年卒)
- ・盛一 享徳 (大学院 3 年、平成 9 年卒)
- ・古瀬 優太 (大学院 2 年、平成 15 年卒)

外来患者数 (2009 年 4 月～2010 年 3 月)

小児科新生児外来 667 人/年

産科外来 (1 ヶ月健診) 309 人/年

体重区別新生児数 (2009 年 1 月～12 月)

体重区分	新生児数	死亡数
～1,000g	12	2
1,000～1,500g	15	2
1,500～2,000g	23	0
2,000～2,500g	52	2
2,500～4,000g	195	0
4,000g～	0	0
計	297	6

多胎症例数

双胎 19 組 37 例

研究内容

- ・ 新生児慢性肺疾患の病態解析
- ・ 新生児慢性肺疾患モデルに対するステロイド投与の効果解析
- ・ 新生児慢性肺疾患モデルに対するエリスロポエチン投与の効果解析
- ・ 羊水中 BNP 濃度の測定意義
- ・ 先天性肺胞蛋白症の病因解析
- ・ 先天性肺胞蛋白症の全国調査

競合的外部資金

科学研究費補助金 基盤 C 「ラットを用いたコルチコステロイド投与が新生児慢性肺疾患に及ぼす影響の解明」 1,100 千円

著書

1. 長 和俊：新生児の血小板輸血. 周産期・新生児の輸血治療 大戸斉、大久保光夫（編）メジカルビュー社（東京）：94-97, 2009
2. 長 和俊：呼吸窮迫症候群. 今日の治療指針 山口徹、北原光夫、福井次矢（編）医学書院（東京）：973-974, 2009
3. 長 和俊：頭蓋内出血. 小児科臨床ピクシス 16 (新生児医療) 五十嵐隆、渡辺とよ子（編）中山書店（東京）：239-241, 2009
4. 長 和俊：SIMV と A/C : 新生児呼吸管理. 長 和俊（編）メディカ出版（大阪）：110-111, 2010
5. 長 和俊：A/C と PSV : 新生児呼吸管理. 長 和俊（編）メディカ出版（大阪）：112-113, 2010
6. 長 和俊：PSV と PAV : 新生児呼吸管理. 長 和俊（編）メディカ出版（大阪）：114-115, 2010
7. 長 和俊：換気量保証 (VG) と従量換気 : 新生児呼吸管理. 長 和俊（編）メディカ出版（大阪）：116-117, 2010

論文

1. 長 和俊：周産期と肺サーファクタント. 日本肺サーファクタント・界面医学会雑誌 40: 82-86, 2009
2. 小山典久、網塚貴介、奥起久子、川口千晴、白川嘉継、長 和俊、細野茂春、伊藤 進：新生児医療施設に対する輸血用血液供給体制の問題点と対応. 日本未熟児新生児学会雑誌 21: 265-272, 2009
3. 長 和俊：呼吸窮迫症候群. 小児内科 41 (増刊): 118-123, 2009
4. 長 和俊：【新生児の人工呼吸】間欠的強制換気. 周産期医学 39: 954-958, 2009
5. 長 和俊、丸谷千春：呼吸窮迫症候群. Neonatal Care 22: 324-332, 2009
6. 長 和俊：【明日の周産期医療への提言-若手スタッフの未来のために】新生児科医師の養成. 周産期医学 39: 1276-1281, 2009
7. 水島正人：【小児の症候群】呼吸器 Pierre Robin 症候群. 小児科診療 72: 241, 2009

8. 森川 守、山田 俊、山田崇弘、島田茂樹、荒木直人、小山貴弘、水島正人、長 和俊、水上尚典：妊娠性血小板減少症(gestational thrombocytopenia)の臨床的意義. 日本産婦人科・新生児血液学会誌 19: 19-25, 2010
9. 水上尚典、森川 守、島田茂樹、山田崇弘、長 和俊、小山貴弘、水島正人、山田 俊：妊娠性アンチトロンビン欠乏症. 日本産婦人科・新生児血液学会誌 19: 7-17, 2010
10. 長 和俊、水上尚典：【多胎妊娠 母児の管理】 MD 双胎発生における例外. 周産期医学 40: 305-309, 2010
11. 山田 俊、長 和俊、遠藤俊明、花谷 馨、水上尚典：北海道における未受診妊婦の実態 分娩取り扱い施設へのアンケート調査から. 日本周産期・新生児医学会雑誌 4: 1448-1455, 2009
12. 小西祥平、長 和俊、水島正人、盛一享徳、古瀬優太、水上尚典、上田恵子、岡嶋 寛：慢性肺疾患モデルラットに対する生後ステロイド投与の影響. 日本周産期・新生児医学会雑誌 45: 1277-1279, 2009
13. 森川 守、山田 俊、山田崇弘、島田茂樹、小山貴弘、長 和俊、水上尚典：妊娠高血圧 妊娠中の暫定的診断「妊娠蛋白尿」の病的意義(第 2 報). 日本周産期・新生児医学会雑誌 45: 1125-1128, 2009
14. 水上尚典、山田 俊、長 和俊：【産科医療の崩壊を止める】 周産期医療システムの再構築 母体搬送のコーディネートシステム. 産婦人科の実際 58: 869-874, 2009
15. Yamada T, Sawai H, Nishimura G, Numabe H, Cho K and Minakami H: Platyspondylic lethal skeletal dysplasia San Diego type (thanatophoric dysplasia type 1) associated with trisomy 21 presenting with nuchal translucency: a case report. Prenat Diagn 29: 715-7, 2009

学会発表・講演

1. 古瀬優太：甲状腺剤投与開始後に晩期循環不全を発症した 2 例. 第 45 回日本周産期・新生児医学会、名古屋、2009/7/12-14
2. 小西祥平：ワークショップ：「出生後のステロイド投与」慢性肺疾患モデルラットに対する生後ステロイド投与の影響. 第 45 回日本周産期・新生児医学会、名古屋、2009/7/12-14
3. 盛一享徳：臍帯静脈血中 B 型ナトリウム利尿ペプチド(B-type natriuretic peptide:BNP)値に関与する周産期因子の検討. 第 54 回未熟児新生児学会、横浜、2009/11/29-12/1

4. 長 和俊：シンポジウム：「甲状腺スクリーニング - 現状と課題、今後の可能性 -」
早産児における甲状腺機能検査の問題点、第 36 回日本マススクリーニング学会、札幌、
2009/8/21-22
5. 小西祥平：多嚢胞性異形成腎に対側腎破裂による尿性腹水を合併した 1 例、第 61 回北
日本小児科学会、山形、2009/9/12
6. 古瀬優太：甲状腺剤投与開始後に晩期循環不全を発症した 2 例、第 3 回新生児内分泌研
究会、京都、2009/9/26
7. 古瀬優太：セレウス菌敗血症により急激な転帰をとった超低出生体重児の一例、第 22
回北海道新生児談話会、札幌、2009/10/31
8. Konishi S: Effects of postnatal steroid administration on the rat model of chronic
lung disease. Fetal and Neonatal Physiological Society. 36th Annual Meeting Lake
Arrowhead, USA, 2009/9/27-30
9. 長 和俊：RDS の臨床、第一内科、2009/8/19
10. 長 和俊：RDS 臨床の Up-to-date、千歳恵庭小児科医会、2009/5/15

社会貢献

1. 長 和俊：新生児蘇生法講習会（天使大学）2009/8/30
2. 長 和俊：新生児蘇生法講習会（北海道大学病院）2010/1/30
3. 長 和俊：新生児蘇生法講習会（北海道大学医学部保健学科）2010/2/4

学会活動

周産期・新生児医学会

評議員，周産期シンポジウム運営委員（長）

日本未熟児新生児学会

評議員，医療機材安全性確認委員会委員，輸血問題小委員会委員（長）

日本産婦人科・新生児血液学会

評議員（長）

日本新生児医療連絡会

役員（長）

日本臨床モニター学会

評議員（長）

日本肺サーファクタント・界面医学会

理事（長）